



樹海

令和5年12月22日 第9号

富良野市立樹海学校(義務教育学校)

R4.4/1 開校 110年の歴史を引き継ぐ伝統の新設校

HP 随時更新中 <https://furano-city-jukai-school.edumap.jp>

年末と防災について思うこと 校長 小嶋 高德

明日から冬休み

今年もあっという間の年の瀬、すっかり本格的な冬です。義務教育学校2年目の今年は、コロナ対策緩和により制約が少なくなったことで、諸活動が活発化しました。ブロック制を生かした活動も増え、樹海っ子はよく頑張っていて成長しています。そして地域・保護者の皆様からの多くのご支援、ご協力により特色ある教育活動を進めることができ、心より感謝申し上げます。11月から12月の樹海っ子たちの活躍は、本誌下段・裏面記事で、また随時更新中の本校ホームページで、是非ご覧ください。

結びになりましたが、どうぞ皆様よいお年を！

防災教室より

11月29日(水)の防災学校(裏面記事参照)では、私は私がかつて赴任していた南富良野町で起こった、平成28年の洪水を思い出しました。終わりの挨拶で、樹海っ子たちにその経験を伝えたいと思い、その時の災害の概要と何を大切にすべきか話しました。ここではそのときに話したことを、以下及び右記で改めて少し詳しく述べてみます。

勇気ある臆病者たれ！

私は7年前、お隣の南富良野町の南富良野小学校の教頭を務めていました。その年の8月30日夜8時、数日連続して起きた大雨と、河川の水位上昇のため、私の勤務していた南富小が第2避難所になりました。そこで低い土地で川沿いの教員住宅にいる職員には、家族共々避難所まで来るよう説得。しかしそのときは避難勧告も出ていませんので、一度は避難所に来たものの、「大丈夫だから」と帰宅した職員が2名、「赤ちゃんが泣くから」と帰った職員が一家族いました。ところが夜中2時過ぎに川が氾濫、

1名は音で気づき避難してきました。しかし一家族は逃げ遅れ、濁流で車が動かなくなりました。引き返し自宅にこもるも家の中への浸水が防げず、赤ちゃんを押し入れに上げ、朝8時過ぎまでの約7時間、家の中も水位が腰まで上がる命の危険が迫る中、救助を待つことになったのです。

避難してきた職員に報告を受けた私は、通報すると共に、すぐなら助けに間に合うと思い、その家族を救助したいと、当時教頭だった私は校長先生にお願いし、現地に向かいました。行ってみるとすでに長屋が集まった団地は、湖のようになっていました。一瞬何も考えられなくなりましたが、大声で叫ぶと職員1名が気づき避難。他の住民も寝ているかとも思い、家々のドアを叩くと寝起きで「まさか」という反応。避難誘導するのに必死でした。道には流入する泥や砂利がでこぼこに堆積し、まともに歩けません。一番深いところでは胸に迫る泥水の中、流れは速さを増し、水圧でなかなか進めず、流れてきた物が体に当たり、帰った職員家族の家まではなかなかたどり着けません。夜中3時になってサイレンが鳴り、ようやく消防団が到着、その家族を助けてもらおうとしましたが、「助ける側も危険なため、朝、自衛隊のヘリが来るまで待つしかない」と言われ愕然としました。結果的にその家族は朝、無事救出されたこと、その家族を助けに行ったことで避難していない住民を早く誘導できたこと、一人の死者・重傷者も出すことなくすんだことは、幸運だったと思います。もし水勢が強まり、家が流されたとしら…。水が屋根まで達するくらいになったとしたら…。

想定外の災害は起きるのです。今、私は、荒天時では「臆病さ」が最も大切だと、断言できます。まさかと思っても、とにかく早く避難する。「勇気ある臆病さ」が人の命を守るのです。

職業体験報告会～5～8年生(中等&高等部)

12月19日(火)、「7年生の職業講話」「8年生の職業体験実習」の報告会を開催しました。今回の報告会では、今後のキャリア教育に向けての動機づけとして、5・6年生も参加しました。発表では、体験学習での学びをわかりやすくプレゼンソフトにまとめ、上手に発表することができました。特に8年生の職業体験実習で、実際に店員さんと同じように働いたことを知り、他学年からは驚きの声がかかる一幕も。働くことや仕事とは何かを考えることができました。キャリア学習となりました。



休み中の学習に朗報

…充実の学習支援コンテンツをHPにUP！

本校のホームページに、家庭学習に使用できる問題集を掲載しました。冬休みはプリントアウトして、お子様の毎日の学習にお役立てください。その他にも家庭学習に役立つ情報が満載です。また各人のタブレットにある学習アプリの家での使用もおすすめです。



HPの樹海キャラクターの勉強法コーナーも、ぜひご覧ください。

12/18は特別授業DAY



中等部5～7年生 アイヌ文化授業

12月18日(月)3/4校時、文化人類学者の百瀬 響 教授(北海道教育大学札幌校)を招き、北海道独自の歴史とアイヌ文化の特別授業をしていただきました。海外でも評価の高い研究者の大学の教授から、子どもたちが直接授業を受ける貴重な体験でした。アイヌの人々は狩猟採集だけではなく交易が盛んで、先立つ時代の「縄文・続縄文・擦文時代」とは違い土器を作らず、その他の品も交易で手に入れることが多かったこと、クマ送りの儀礼は「オホーツク文化期」と似ていることを、大画面で画像を見て実感。また3Dプリンターで復元したイクパスイという祭具を全員が模写。彫刻の特徴から、当時何を大事にしていたか理解できたようです。驚いたのが、アイヌの人々のその後を左右するのは「鉄器づくりをやめた」こと…教科書に載っていない指摘は、目から鱗でした。現代にも通じる技術保全の重要性を痛感します。子どもたちは興味深く授業を受け、活発に発言や質問をしていました。



1月の行事予定

1	月	元日 学校閉庁日
2	火	学校閉庁日
3	水	学校閉庁日
4	木	
5	金	
6	土	
7	日	
8	月	成人の日
9	火	
10	水	
11	木	
12	金	
13	土	
14	日	
15	月	職員会議⑫
16	火	3学期始業式
17	水	学年末テスト(9年)
18	木	
19	金	スキー授業①
20	土	
21	日	
22	月	常任委員会⑪
23	火	クラブ⑥
24	水	職員会議⑬ 冬季避難訓練
25	木	
26	金	
27	土	
28	日	
29	月	児童生徒教育相談③
30	火	スキー授業②
31	水	

高等部8・9年生 国際理解&SDGs

同日2校時は、日本工営株式会社 百瀬 泰 参事を講師に招き、「日本の国際貢献・開発援助の仕事・持続可能な開発」を学習。皆真剣に受講していました。講師は日本のODAによるダム建設等の地質調査やプロジェクトリーダーとして、インドネシアやケニアなどで活躍中です。世界には支援が必要な貧困がある事実、そうした国の向上のため、日本が果たしている役割や持続可能な開発、高い技術と援助の仕事等を実際の画像を使いながら説明下さいました。そして講師から樹海学校の子ども皆へ、1枚ずつ外国の硬貨をプレゼントしてくれました!ご家庭で、どこの国のコインだったかぜひ一度ご覧ください。



1日防災学校(全学年)

11月29日(水)、今年は1～3年生「防災カルタ」4～9年生「避難所運営ゲーム・Doはぐ」を実施。保護者の皆様と学校運営協議会から寺島委員長さんに参加していただき、子どもたちは防災の実際や避難所運営する立場だったらどうするかを、大人と一緒に楽しく学びました。



第3回参観日

情報モラル教室・東山保育所交流学習

12月8日(金)は、今年度3回目の参観日。この日は、午前の特設授業から午後の参観授業、そして放課後の学級懇談を開催した1日参観日となりました。

○情報モラル教室(5～9年) 富良野警察署生活安全課 吉泉巡査長を講師に招き「ネット犯罪に巻き込まれないために必要なこと」を学びました。わかりやすい説明で情報モラルの重要性が実感できました。

○東山保育所交流学習(1～2年) 東山保育所から3歳児クラスの3名の園児が来校。学習内容は生活科「遊びランド」と体育館でレクをしました。1・2年生はお兄さんお姉さんになっておもてなしをし、とても楽しい交流学習となりました!



西留安雄氏の「セルフ授業」に学んでいます

12月13日(水)、全国各地で学習者が主体的に学ぶ授業を提案・実現してきた西留安雄先生を招き、研修参加者が児童・生徒役になって主体的な授業のあり方を体感する、実践的な教職員の校内研修を実施、大変有意義でした。実は西留先生のアドバイザー就任により、改善が急務だった高知県・沖縄県は、学力が向上しており、そこで効果的だったメソッドも使いつつ、多くの提案をいただきました。さらに、西留先生は全校の子どもを集め、「自分たちで授業を進めよう」と主体的な学びの実際を子どもたちにも直接教えて下さいました。本校の児童生徒は、楽しそうに子ども同士で対話し学習を進める、他県の授業映像を、驚きながらも真剣に見入っていました。

